

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

従来から実施している求職者担当者制、令和2年度から実施している職種別担当者制に加えて、令和3年度からは、雇用保険受給者の早期再就職促進のため、原則、職業相談部門の正規職員2名が、雇用保険受給資格決定後の新規求職登録及び初回相談を担当し、早い段階からの能動的な求職者支援を行いました。また、職業相談部門の職員・相談員が集中的にマッチング業務を行うための『マッチングタイム』を定期的に設け、一時的に統括職業指導官が窓口対応を行う間、バックヤードにおいて、求人情報の送付や提供後の求職者からの反応の確認等を行い、能動的なマッチングに取り組みました。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

外部講師を招いて、全職員・非常勤職員を対象としたスキルアップ研修を開催しました。①労働基準監督署長を講師として、労働基準法の基礎知識について受講し、当所で受理した求人票に基づき、具体的な記載内容が労働関係法令に抵触しないか等の確認を行いました。②社会保険労務士を講師として、社会保険の基礎知識について受講し、失業給付との関連性や求人受理時の留意すべき社会保険の加入要件等の確認を行いました。③福井工業大学のキャリアセンター職員を講師として、発達障害者の就職支援について受講し、発達障害が疑われる学生の現状や支援の方法等を確認しました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

求人充足会議は、準備や顛末の記録等に労力を要し、形骸化し実効性のないものになっていたことから、会議の目的をシンプルに『部門間の情報共有の場』として位置付け、事業所と求職者双方の『リアルな声』を活かす事を前提に毎週開催しました。事前に職業相談部門員から対象求人についての意見・質問を募り、当該意見・質問に基づき求人者支援員が事業所を訪問し、得られた情報を求人充足会議にて情報共有のうえ、職種別マッチングによる情報提供に繋げました。求人から求職者への情報提供までの一連の流れを意識する様に改善を図りました。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

新規求職者が減少するなか、求職者の高齢化が進んでいることから、高齢者が求めているパート求人の確保が課題であると思料されます。過去にパート求人をだしていた事業所や助成金申請のため来所した事業所への求人開拓に加えて、パート求人をだした事のない事業所へのアプローチや公開中のパート求人を更に応募しやすい求人にするための条件緩和等を積極的に取り組みます。

(4) その他業務運営についての分析等

新規求職者の減少に伴い、安定所利用者が減少していることから、求められ、かつ利用したくなる機関となるために、来所登録者へのより丁寧な相談及び支援に加えて、オンライン登録者を含む安定所を利用した事のない者に対する新規求職者開拓やサービス・支援内容の広範な周知が必要と思料されます。

また、令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の状況が、求職者の動向に大きな影響を与えたと思料されます。管内の学校や企業においての感染状況緩和期には新規求職者数が増加しましたが（令和3年10月は、前年同月比26.7%増加）、感染状況拡大期には新規求職者数が大幅に減少し（令和4年2月は、前年同月比27.3%減少）、職業紹介及び就職状況に反映しました。

2 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	紹介率	ハローワークの職 業紹介により、正 社員に結びついた 就職氷河期世代の 不安定就労者・無 業者の件数	正社員求人数	正社員就職件数		
令和3年度実績	1,188	1,119	301	96.7%	54	4,105	477		
過去3年度平均	1,434	1,295	350	98.0%	51	4,387	562		
R2年度実績	1,265	1,148	351	101.8%	51	4,317	515		
対 R2 比	93%	97%	85%	94%	105%	95%	92%		
R1年度実績	1,426	1,314	323	92.4%	—	4,428	550		
対 R1 比	83%	85%	93%	104%	—	92%	86%		
H30 年度実績	1,610	1,422	377	101.1%	—	4,415	620		
対 H30 比	73%	78%	79%	95%	—	92%	76%		

※ 令和3年9月以降の実績は、就職件数は「(従来の) 紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足件数は「(従来の) 紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足件数の合計となっている。